

# 迎春

誇りの心でふるまふまちを私たちが手をつなぐ



播磨町長

## 清水ひろ子

新年あけましておめでとうございます。皆さま方におかれましては、輝かしき初春を迎えられたことと、心からお喜び申し上げます。

「古代から輝く未来へ！ みんなでつくるまちはりま」をテーマとして、第3次播磨町総合計画が平成13年度より10カ年計画で進められてきております。今後は、この計画の骨子を尊重しながらも、新たな発想と創意工夫のもとに、時代の流れを読み取りながら、次代を見据えた「人にやさしいまちづくり」を推進してまいります。また、「対話のできる行政」を目指して、昨年より順次実施してきております全自治会を対象とした行政懇談会などお寄せいただきましたご意見、ご提言を、積極的に町行政に反映させてまいります。住民の皆さま方と歩調を合わせて、播磨町の「輝く未来」を築いてまいりたいと思っております。

今秋には、大中遺跡において「県立考古博物館（仮称）」が開館いたします。土山駅南においては、行政サービスコーナーを併設した「はりま複合交流センター」などの建設に着手いたします。また、老朽化が進んでいる町内各公共施設においては、改修などが早急に必要になってきております。多くの課題を抱える中で、最重要課題は、教育環境の整備です。長年の懸案でありました校舎の改修、通学路の安全対策、精神面でのケアなど、教育委員会とも連携をとりながら、これからの播磨町を担う子どもたちが最良の教育環境で育つことができるよう努めてまいりたいと思っております。

今年はいのししの年ではありますが、猪突猛進ではなく、着実な歩みの中で堅実な行財政運営に努めてまいりたいと思っております。皆さま方にとって幸多きお年でありますよう祈念いたしまして、新年のごあいさつとさせていただきます。

## 山積する課題解決に向けて！



播磨町議会議員

## 山下喜世治

新年あけましておめでとうございます。平成19年年頭にあたり、播磨町議会を代表して謹んで新年のごあいさつを申し上げます。皆さま方には、健やかに希望に満ちた初春を迎えられたことと心よりお喜び申し上げます。

さて、昨年は、国・播磨町に新たなリーダーが誕生いたしました。これからの手腕が問われるところでもあります。我が国の経済に明るい兆しが見えるようになった一方、くらしの中では、子どもたちの生命が奪われる犯罪なども相次ぎ安全・安心が揺らいできています。町政においては、少子化に対応した地域社会の維持・構築や、地域経済の再生・子どもたちを立派に育てる教育・自然環境の次世代への確かな継承など、様々な課題が山積しています。こうした厳しい環境を解決していくには、住民と行政との信頼関係が大切であります。

幸い、播磨町はボランティア団体などが活発化しています。町にとっても心強いパートナーの誕生であります。議会としても、住民とのコミュニケーションを深め相互理解を確かなものにし、住民福祉の向上に最善の努力をいたします。結びに、播磨町の限らない繁栄と、皆さま方にとって良き年であることを祈念申し上げます。年頭のごあいさついたします。

あけまして  
おめでとう  
ございます

議長

山下 喜世治

副議長

藤田 博

議員（議席順）

- 浅原利一
- 小西茂行
- 福原隆泰
- 松本かをり
- 河南博
- 永谷修
- 渡辺文子
- 塩沢岩光
- 田中久子
- 中西美保子
- 杉原延享
- 松本正
- 毛利豊
- 宮尾尚子
- 古川美智子
- 浅原博文

公職選挙法により、政治家は、年賀状などのあいさつ状を出すことが禁じられています。

ご理解とご協力をお願いいたします。

